

山陰 五十猛 だより 春号 VOL.24

2011年3月発行
 【発行】 株式会社 和田珍味
 【本社】 〒694-0035 島根県大田市五十猛町1559-3

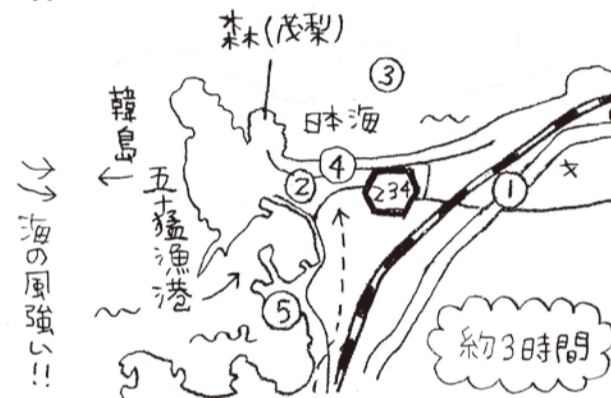
今年の山陰の冬は例年以上の大雪でしたが皆様はいかがお過ごしでしたか？
 なせか年の初めは毎年、雪が積もっているような気がします。さて、春になり、新年初の五十猛便りが始まります。今年も新鮮な小情報をたくさんお届けさせていただきますので、ご愛顧の程よろしくお願ひ致します♡ それでは、五十猛便り春号をお楽しみ下さい。

わたしたちの町 五十猛町の「スサノオ伝説・神島」vol.2

今回お届けする「スサノオ伝説・神島」では、たいことドラマが神話学習講座にて、「スサノオ伝説」の元となった五十猛町の現地を歩いて見て来た事をご紹介します！仕事場や車の運転中に見ることはあっても、実際に歩いて巡るのは初めての事です。2回目以降から講師にお迎えしている永見敏郎先生と、参加者さんでマイクロバスでの移動となりました。

この神話学習講座は、古事記1300年神話のふるさと「島根」推進協議会助成事業の中の一つに採択され、昨年の10月から活動しています。今回も、神話学習講座へたくさんのご参加をいただき、私たちが貴重な体験ができました。

それぞれメモをとったり、写真を撮ったり...積極的に参加していただき嬉しいです♡



- ① 和田珍味本店 →
- ② 大浦港(韓郷山 韓島)遠望 →
- ③ 神島・④ 神上遠望 →
- ⑤ 韓神新羅神社 → ⑥ 神別れ坂
- ⑦ 薬師山 → ⑧ 逢浜
- ⑨ 五十猛神社 → ① 和田珍味本店

ポイント★
 森(茂梨)から見る「神島」はとても近く、迫力がありました！一緒に参加された方が「子供の頃はよく、神島まで泳いだよ！」と教えてくれました☆ 和田珍味本店から見える「神島」とはまた違って見えますネ。その昔、日本の国造りの祖、スサノオノミコトが、3人の子を引き連れて新羅国からお帰りになった時、初めに上陸された地と言伝えられています。

韓神新羅神社まで、せまい漁師町の中を歩きます。道路幅が狭く、車も入れません。重なりあうように家が密集しています。独特な雰囲気がありますヨ☆

韓島 新羅国からお帰りになった時、スサノオノミコトらが立ち寄ったと言われています。	神上 スサノオノミコトが上陸に適していると考えになり、本土に初めて上陸された浜辺です。	韓神新羅神社 スサノオノミコトを主祭神とし、地元では「大浦神社」「明神さん」と呼ばれています。	神別れ坂 ここで、イソタケルノミコト、オオヤツヒメ、ツマツヒメがお別れになったと言われています。	薬師山 スサノオノミコトが韓国より薬草を持ち帰り、この地に植えたと言われています。	逢浜 イソタケルノミコトとオオヤツヒメが再びお逢いにあった浜です。	五十猛神社 祭神はイソタケルノミコトで、神社の名前の由来にもなっています。
---	---	---	--	---	---	---

実際に現地を訪ねて歩いたことで、ますます神話が身近なものに感じました☆
 五十猛町のスサノオ伝説をテーマとした、皆さまも体験できる「ガイドコース」を今後作っていきますので、お楽しみに♡

★ **スタッフ紹介**

☆ 通販事務 藤井宗人

お歳暮商戦を乗り越えられた事で、一つ成長出来た気がします！今年は新たな事にも積極的に取り組む年になろうと思います。

がんばってね

● **五十猛町のグロ**

- 韓神新羅神社すぐ側、五十猛漁港の一面では、毎年年頭にグロと呼ばれる仮屋を設け、歳徳神(としとくじん)を迎え一年の豊漁などを祈願します。国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統ある行事です。中のいろりの火を、1月11日～15日早朝まで絶やさないで燃やし続け
- ます。グロの火にあたり、その火で焼いたものを食べるとその年は病気になるいと言われてるんです♡
- みなさまも機会があればぜひ言われてみてください！
- 和田珍味スタッフがご案内いたします☆☆